取扱説明書 ―― 保管用

白熱灯シーリング
(傾斜天井付け可能型)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのし方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　番	適合電球
LE-3285	E17　PSクリプトン電球60W以下×2灯
LE-3286	E17　PSクリプトン電球60W以下×3灯

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警 告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注 意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❶　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⊘　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け　取り扱い上の注意

配線器具を取り外します

角形引掛けシーリングボディー

丸形引掛けシーリングボディー

引掛け埋め込みローゼット

すぐ取り付けられます

配線だけの場合

市販のアダプターが必要です

アウトレットボックスの場合

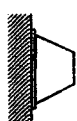
⚠警告

⊘ 破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。
配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

破損しているもの　ガタつくもの

⊘ 樹脂製ボックスカバーには取り付けないでください。
★器具の落下事故の原因となります。

⊘ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⊘ 次のような場所には取り付けないでください。　★器具の落下事故によるけがの原因となります。

壁　面

45°以上
傾斜した場所

不安定な場所

ケースウェイにセットされている配線器具

⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⊘ 器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⊘ エアコンの吹き出し口の近くに設置しないでください。
★器具がゆれて破損する原因となります。

⚠注意

❶ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

❶ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となることがあります。

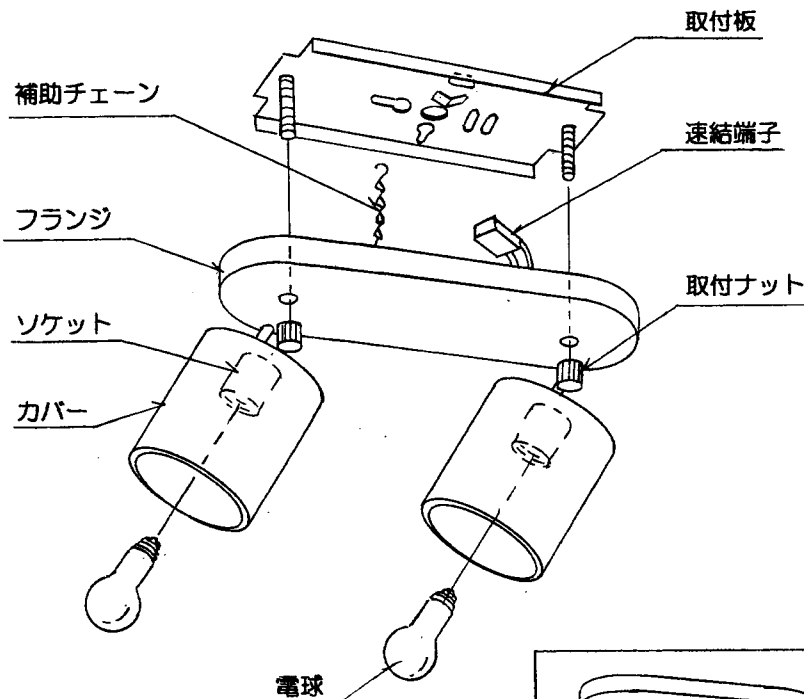
⊘ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

⊘ ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないで下さい。
★カバーの破損、落下の原因となります。

⊘ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

各部の名称 （説明図は、一部を省略抽象化した図です。）（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください。）

【器具構成図】

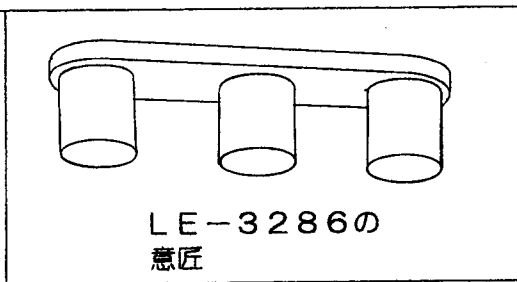
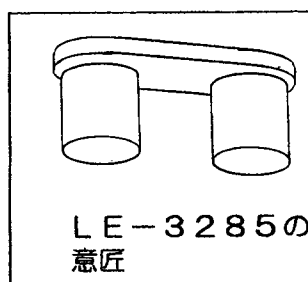
取付板
補助チェーン
速結端子
フランジ
取付ナット
ソケット
カバー
電球

【付属品】

座付木ネジ
（取り付け金具用）
ＬＥ－３２８５・・・２本
ＬＥ－３２８６・・・４本

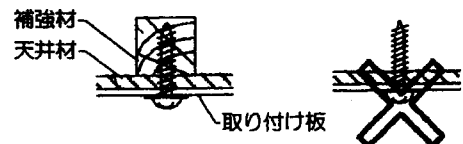
Ｅ１７ＰＳクリプトン電球
（ホワイト）６０Ｗ
ＬＥ－３２８５・・・２個
ＬＥ－３２８６・・・３個

取扱説明書（本書）・・・・・１枚

ＬＥ－３２８５の意匠

ＬＥ－３２８６の意匠

取り付け場所の確認

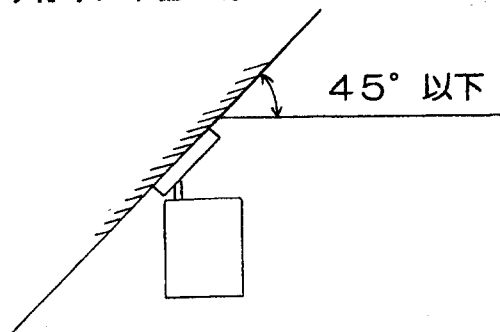
⚠ 警告

取り付け金具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注意

建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

取り付け方 ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告

器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

傾斜した場所に取り付ける場合の注意

⚠ 注意

取り付け面の傾斜角度は ４５ ° 以下です。
★取り付け角度を誤ると器具落下による事故、その他の破損や、「けが」の原因となります。

⚠注意 ❗ カバーは、ガラス製ですので取り扱いには十分にご注意ください。
★ガラス割れ等の事故や「けが」の原因となります。

1. カバーを可動させて取付ナットをゆるめ、取付け板をはずします。

   下記 ●カバー角度の調節方法 を参照してください。

フック
取付板
補助チェーン
電源線
座付木ネジ
速結端子

2. 取付板をセットします。

   ① 電源線を取付板の電源孔に通します。
   ② 付属の座付木ネジで取付板を固定します。
   LE−3285・・2本
   LE−3286・・4本

3. 補助チェーンを取付板のフックに引っ掛けます。必ず行ってください。

4. 電源線を接続します。

⚠警告 端子に差し込むケーブルは、必ずVVFΦ1.6または Φ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
❗ **★指定以外のケーブルや曲った芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。**

はずし穴
電源線
はずし穴
速結端子
12mm

① 電源線を速結端子のゲージ（12㎜）に合わせて 剥きます。
② 電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
※ 電源線をはずす場合は、幅6㎜のマイナスドライバーをはずし穴へ真っ直ぐ差し込むとはずれます。

5. カバー可動方向が片側のみですので取付方向に注意してフランジを、取付ナット2個で取付板に確実にセットしてください。

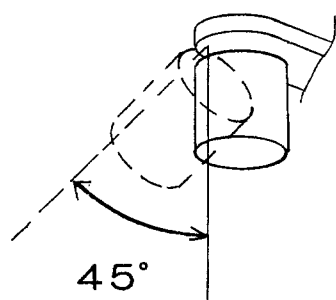
取付板
取付ナット

6. カバーの角度を調節してください。

   下記 ●カバー角度の調節方法 を参照してください。

7. 電球についている梱包材を取り外してください。

⚠注意 ⊘ 電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れ等の事故の原因となります。

カバー角度の調節方法 ⚠注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

可動範囲片側45度

⚠注意
❗ 必ず電源を切ってから行なってください。
★感電事故の原因となります。

❗ 点灯中や消灯直後のカバーや器具は熱くなっていますので触らないでください。
★火傷の原因となります。

❗ カバーは、ガラス製ですので取り扱いには十分にご注意ください。
★ガラス割れ等の事故や「けが」の原因となります。

この器具は、カバー角度を調節できます。
カバーを持ち、ゆっくりと角度を調節してください。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON−OFF」操作を行います。

OFF

お手入れについて　⚠注意　❶ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

●電球の交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、または
ハンカチやタオル等を使って交換してください。**★火傷の原因となります。**

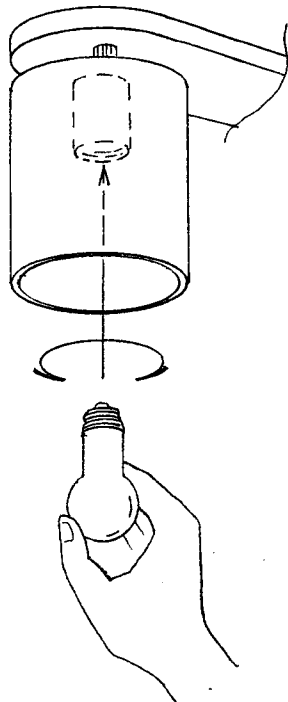
●濡れた手で触らないでください。**★感電事故の原因となります。**

●電球は乱暴に扱わないでください。　**★電球が割れてけがをする恐れがあります。**

●適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常加熱による火災の原因となります。

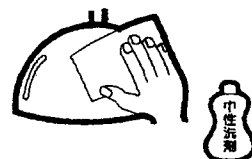
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

◆電球の交換

⚠注意

電球交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

1. スイッチを切ります。
2. カバーの開口部から手を差し入れて
電球交換を行います。

◆お手入れのしかた

①スイッチを切ります。
②柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
③汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
④最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）
故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明営業窓口にご相談ください。